

「自動車運転に関する実態と意識」 調査結果概要

1. 事前調査

今回は、2019年8月16日～21日に実施した事前調査において、その時点で一定以上の頻度で自動車の運転を行っている、各年代の男女計1,000人を抽出し、2019年8月23日～26日の間にインターネットによる調査を行った。

2. 回答者属性

対象者1,000人（男性509人、女性491人）の主な属性は以下のとおりである。

(1) 年齢

20～29歳、30～59歳、60～64歳、65歳～69歳、70歳～74歳、75歳～79歳の年齢区分ごとに150人、80歳以上が100人（最若年20歳、最高齢89歳、平均60.7歳）。

(2) 居住地域

全国47都道府県

(3) 職業

無職（29.5%）、専業主婦・主夫（23.8%）、会社員（20.1%）、自営業・自由業（8.4%）、パート・アルバイト（9.9%）、学生（1.0%）等

(4) 本調査の対象者の運転頻度の割合

単位：%

	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に数回
全体	39.4	23.9	26.9	9.8
20-29歳	42.7	17.3	30.0	10.0
30-59歳	45.3	20.7	21.3	12.7
60-64歳	48.7	16.0	27.3	8.0
65-69歳	33.3	32.0	26.0	8.7
70-74歳	38.0	26.0	24.7	11.3
75-79歳	32.7	30.0	26.7	10.7
80歳以上	33.0	26.0	35.0	6.0

3. 主な調査結果について

(1) ご自身が運転される時の主な目的（複数回答）

年代別での運転の主な目的は図表1のとおりである。各年代を通じて最も多いのが「買い物」で、65歳以降は特に割合が高くなる。「通勤・通学」は若年・中年層の割合が高く、「通院」は70歳以降になると50%を超える。

図表1:自動車運転の主な目的

単位:%

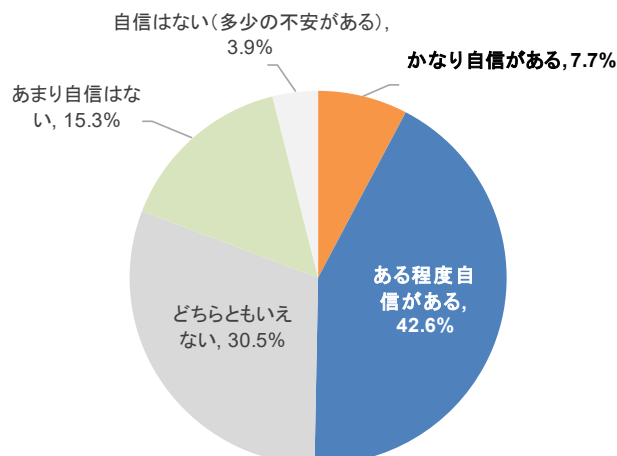
年代	通勤・通学	仕事・業務	買い物	食事(外食)	通院	趣味・サークル	家族・友人宅への訪問	旅行・ドライブ	送迎	その他
20-29歳	45.3	32.7	79.3	46.0	18.0	23.3	26.7	45.3	20.0	0.7
30-59歳	34.7	19.3	88.7	48.7	33.3	22.0	37.3	44.0	33.3	0.7
60-64歳	29.3	16.0	88.0	40.7	34.0	26.0	36.7	54.7	38.7	0.7
65-69歳	10.0	14.7	91.3	50.0	40.7	34.0	43.3	43.3	42.7	2.0
70-74歳	12.0	15.3	93.3	46.7	51.3	41.3	41.3	50.7	46.0	1.3
75-79歳	1.3	11.3	90.7	43.3	56.7	43.3	36.0	40.0	36.7	3.3
80歳以上	4.0	2.0	94.0	39.0	65.0	39.0	38.0	34.0	40.0	3.0

(2) ご自身の運転には自信がありますか

「かなり自信がある」と「ある程度自信がある」の合計は50.3%、「あまり自信はない」と「自信はない(多少の不安がある)」の合計は19.2%である。(図表2)

図表3は、上記の回答を年代別に分けて比較したものである。70歳以上の回答者の「かなり自信がある」と「ある程度自信がある」の合計が、50%を超えている点は注目すべきである。

図表2:自動車運転に対する自信の度合い



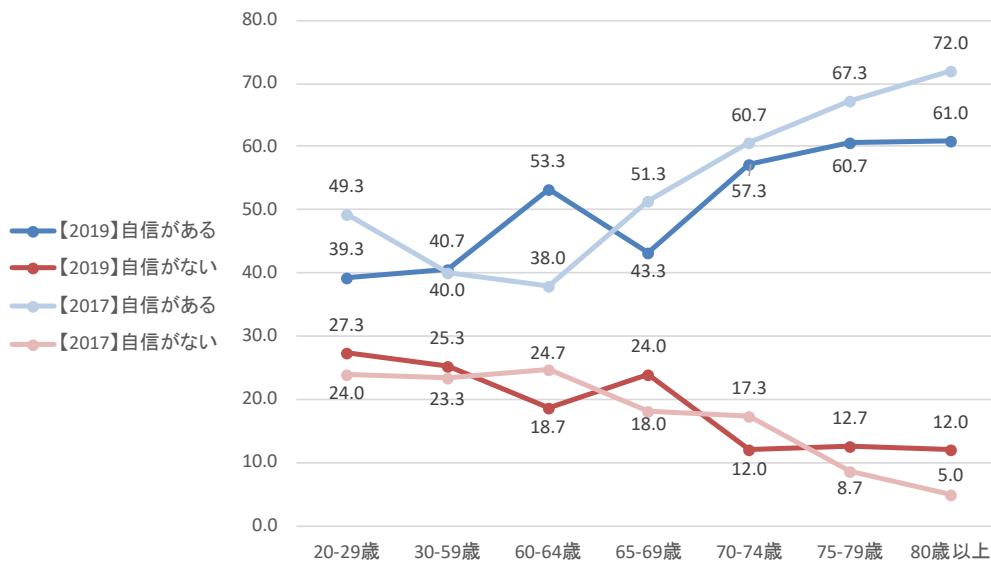
図表 3:自動車運転に対する自信の度合い(年代別)

		回答者数	かなり自信がある	ある程度自信がある	どちらともいえない	あまり自信はない	自信はない(多少の不安がある)						
			0.0	10.0	20.0	30.0	40.0	50.0	60.0	70.0	80.0	90.0	100.0
全体		1000	7.7	42.6	30.5	15.3	3.9						
年代	20-29歳	150	7.3	32.0	33.3	16.0	11.3						
	30-59歳	150	6.7	34.0	34.0	19.3	6.0						
	60-64歳	150	5.3	48.0	28.0	18.0	0.7						
	65-69歳	150	6.7	36.7	32.7	20.0	4.0						
	70-74歳	150	8.7	48.7	30.7	10.7	1.3						
	75-79歳	150	4.0	56.7	26.7	12.0	0.7						
	80歳以上	100	19.0	42.0	27.0	9.0	3.0						

(3)高齢者の自動車運転に対する自信 (2017年調査との比較)

前項の回答における「かなり自信がある」と「ある程度自信がある」の合計をまとめて「自信がある」とし、「あまり自信はない」と「自信はない(多少の不安がある)」の合計をまとめて「自信がない」として、年代別に比較をしたグラフが図表4である。ここでは2017年2月に行った同様の調査との比較も行った。

図表 4:年代別自動車運転に対する自信(2017年と2019年の比較)



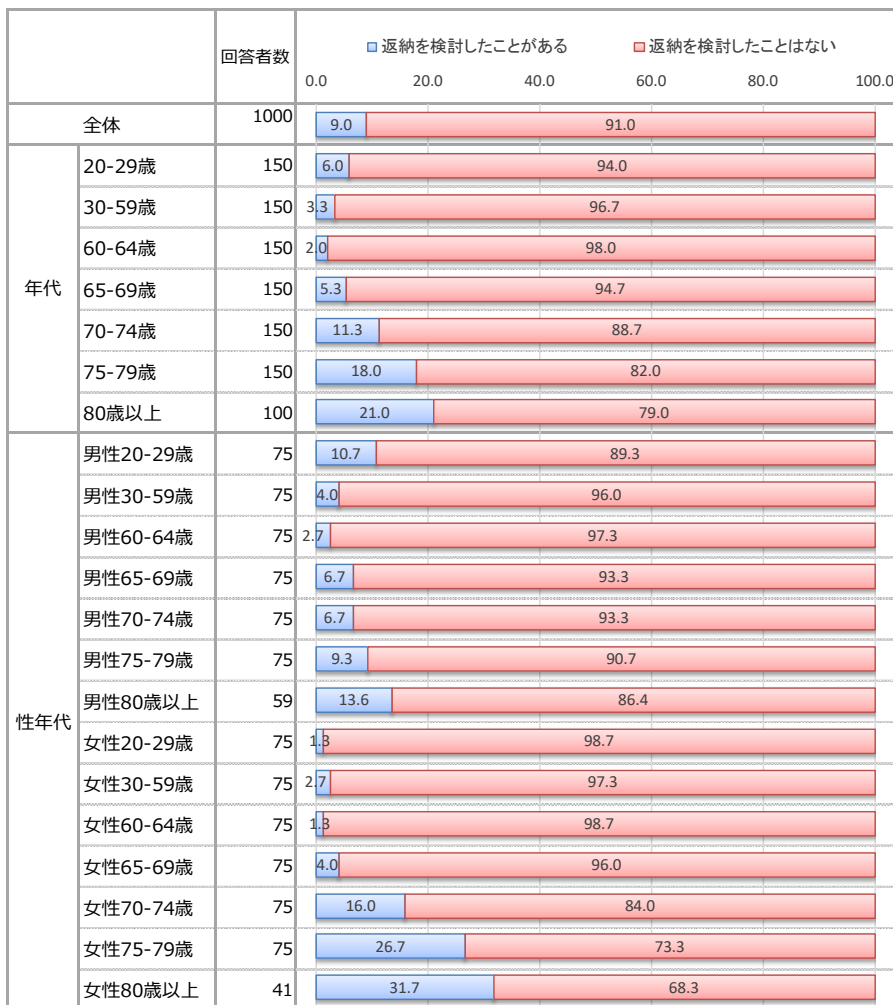
図表4にある通り、年代が高くなるにつれ自動車運転に対する自信は高くなる傾向がみられるが、本調

査（2019年）の65歳以上の回答者の運転に対する自信は2017年度の調査結果に比べて低い傾向がみられる。

(4) これまで運転免許証の返納を検討したことがありますか

本調査では9.0%が運転免許証の返納を「検討したことがある」と回答している。上記結果を性別・年代別に表したものが図表6である。

図表6: 年代別・性別運転免許証返納検討の有無



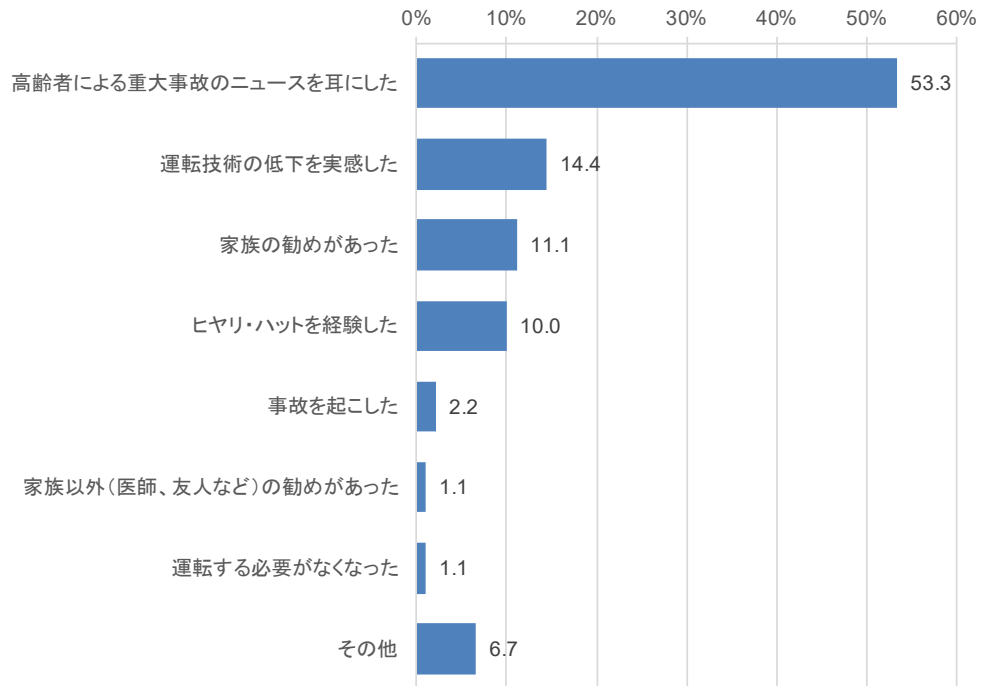
年代別にみると、65歳から年代が上がるにつれ返納を検討した回答者の割合は高くなっている。性別にみると、女性70代以上の回答者が返納を検討した割合は、男性70代以上の値を大きく上回っている。女性80歳以上では31.7%が返納を検討したことがあると回答している。

(5) 運転免許証返納の検討のきっかけおよび返納しなかった理由

図表7は、運転免許証の返納を検討したと答えた回答者に対して、そのきっかけについて聞いた結果で

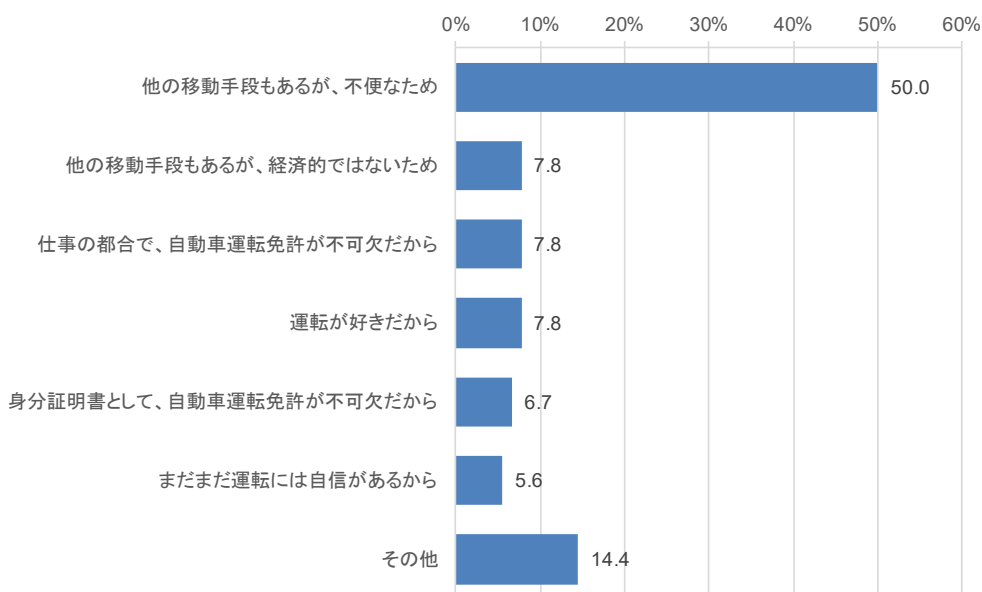
ある。「高齢者による重大事故のニュースを耳にした」ことを挙げた回答者が 50%を超えている。

図表 7: 運転免許証返納を検討したきっかけ



図表 8 は、運転免許証の返納を検討したと答えた回答者に対して、返納しなかった理由を聞いた結果である。「他の移動手段もあるが不便なため」とした回答者が 50%であった。

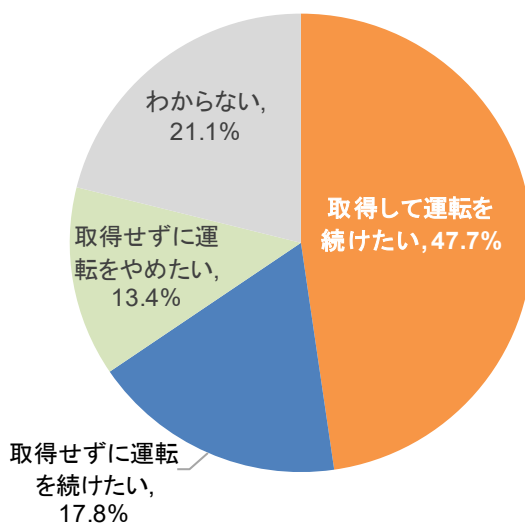
図表 8: 運転免許証を返納しなかった理由



(6)安全運転支援機能を有する自動車を前提として高齢者が運転できる免許証制度

政府が成長戦略の中に掲げた高齢者ドライバー向けの同制度について、現在（または将来）そのような運転免許証を取得して運転を続けたいかどうかを聞いた結果が図表 9 である。47.7%の回答者が、そのような制度による免許証を取得して自動車の運転を続けたいとしている。

図表 9: 安全運転支援機能付き自動車限定免許証の取得意向



以上